



さいくうあと通信

発行 明和町 齋宮跡・文化観光課
 (明和町大字馬之上 945 番地)
 電話：0596-52-7126 FAX：0596-52-7133
 E-mail：saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp

齋宮跡 ～史跡指定 40 周年!!～

史跡齋宮跡は昭和 54 (1979) 年 3 月 27 日に指定をされ、今年で指定 40 周年の節目を迎えます。本号では、これまでの齋宮跡の足跡を年表で振り返ってみようと思います。

44 年 (1969)：県教委が団地造成計画に先立ち古里遺跡を確認

45 年 (1970)：町教委、古里遺跡 (現、齋宮跡) を試掘調査

46 年 (1971)：県教委が古里遺跡を調査、跡脚硯・大型赤彩土馬等を発見

47 年 (1972)：「古里遺跡を守るためについて」の請願を県議会が採択

常陸宮夫妻・高松宮夫妻・三笠宮夫妻、秩父宮妃、寛仁親王が見学

48 年 (1973)：伊勢神宮臨時祭主の鷹司和子さんが訪問

49 年 (1974)：陸子女王の墓で、女王の千年祭が行われる

50 年 (1975)：広域圏道路での調査で大型掘立柱建物を発見

51 年 (1976)：県議会・衆参両院で齋宮跡保存の請願を採択

52 年 (1977)：町が「宮域の史跡指定と保存対策に対する請願」を決議し、
 史跡指定に向けて請願

齋宮小改築に伴う調査で平安後期の四脚門を発見

53 年 (1978)：県教委による計画調査が開始される

54 年 (1979)：齋宮跡が国指定史跡に指定 (3 月 27 日)

齋宮跡調査事務所 (県立) を開設

55 年 (1980)：「寮□」の墨書土器出土 (34 次)

56 年 (1981)：有爾中の有志により惇子内親王の慰霊祭が行われる

57 年 (1982)：齋王の森周辺地区のポケットパーク整備 (整備第 1 号)
 鍛冶山地区から柵列・区画道路・大型掘立柱建物などが
 発見され方格地割の認識が高まる (44 次)

58 年 (1983)：第 1 回「齋王まつり」が地元婦人会により開催

60 年 (1985)：史跡中央部で平安後期の大型区画溝発見 (59 次)

61 年 (1986)：齋王の森周辺地区の区画道路等を復元

62 年 (1987)：浩宮さま (現皇太子) が訪問される

塚山地区ポケットパーク整備

元年 (1989)：県立齋宮歴史博物館が開館

3 年 (1991)：西加座北区画で定期的に配置された倉庫群の可能性高まる (90 次)

4 年 (1992)：上園地区の整備 (S63～H4)

鍛冶山西区画で「内院」の可能性高まる (98 次)、

木葉山西区画で八脚門を確認し、

方格地割が東西 7 列存在した可能性が判明 (96-5 次)



古里遺跡の発掘と現地説明会の様子



出土した大型赤彩土馬



皇土皇女ご覧になる常陸宮様方



陸子女王の千年祭



四脚門跡の発見



地元と文化庁との協議



齋宮跡調査事務所



皇土の森周辺の整備



惇子内親王の慰霊祭



第 1 回目の齋王まつりの様子



第 3 回齋王まつり



浩宮様のご訪問



平成 3 年 10 月にオープンした齋宮歴史博物館

昭和

平成

- 5年(1993): 王朝ロマンフェスタ in 明和が開催される
ふるさと芝生広場、篠林地区の整備 (H5~H6)
- 7年(1995): 八脚門遺構表示、塚山3号墳丘陵整備
鍛冶山西区画の掘立柱塀が二重であったこと判明(107次)
- 8年(1996): 史跡齋宮跡整備基本構想を策定
方格地割北東部(上園・宮ノ前地区)は平安後期に付設の可能性高まる(116次)
- 9年(1997): 鍛冶山西地区から齋宮跡調査史上最大の大型掘立柱建物と井戸を確認(119次)
- 11年(1999): いつきのみや歴史体験館が開館、齋宮歴史博物館リニューアルオープン**
- 13年(2001): 歴史ロマン広場オープン、史跡1/10模型完成
- 14年(2002): 史跡西部で飛鳥・奈良時代の初期齋宮の確認調査を開始
第37回全国史跡整備市町村協議会大会が明和町で開催
- 15年(2003): 国史跡齋宮跡無料休憩所オープン
齋宮ガイドボランティアの会が発足
- 16年(2004): 史跡西部で奈良時代の方形区画の可能性のある柵跡を確認
- 17年(2005): 中垣内地区で方位にのる掘立柱建物・塀と、斜行する掘立柱建物を確認(146次)
- 19年(2007): 柳原区画で四面庇付建物、三面庇付建物を確認(152・153次)
皇太子殿下が齋宮跡を訪問
- 21年(2009): 齋宮跡出土品が国重要文化財に指定**
歴史の道の歌碑序幕式
- 22年(2010): 史跡齋宮跡を核とした活性化基本方針が策定される**
牛葉東区画で「いろは歌」墨書土器が出土(171次)
- 24年(2012): 明和町歴史的風致維持向上計画が認定される**
- 26年(2014): 天皇・皇后両陛下が齋宮跡を訪問される**
- 27年(2015): 日本遺産に「祈る皇女齋王の都 齋宮」が認定**
さいくう平安の杜オープン
齋宮駅史跡公園口オープン、御館区画広場整備
- 28年(2016): 伊勢志摩サミット(ジュニアサミット)で齋宮跡に訪
いつきのみや地域交流センターが完成
中垣内地区で奈良時代の区画の南北規模が明らかになる(189次)
- 29年(2017): 下園東区画広場整備
中部歴まちサミット開催
四日市市久留倍官衙遺跡と連携協定を締結
- 30年(2018): 中垣内地区で飛鳥時代の区画および大規模な倉庫群が見つかる(195次)
- 31年(2019): 史跡指定40周年を迎える**



王朝ロマンフェスタ



最大級の大型建物(119次)



平成11年10月にオープンしたいつきのみや歴史体験館



博物館で説明を受けられる皇太子殿下



柳原区画での発掘調査



重要文化財に指定された出土品



齋宮歴史博物館をご見学される天皇皇太后陛下



「いろは歌」墨書土器



完成したいつきのみや地域交流センター



さいくう平安の杜



中部歴まちづくりサミット



齋宮駅史跡公園口のオープン



195次調査で見つかった掘立柱建物



189次調査

さいくうあと通信の発行について

平成22年度から発行してきた「さいくうあと通信」ですが、来年度からは町内各戸へは配布せず齋宮跡内の各施設を中心に掲示するとともに、役場のホームページで公開していく予定です。今後も齋宮跡をはじめ町内の文化財情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願ひします。